

学習内容報告書 フォーマット

学校名	姫路市立家島中学校
授業者	姫路ヨット協会、姫路海上保安部、家島中学校教員

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

セールトレーニング

1-2. 学年

1年・3年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

学校行事

1-4. 単元の概要

- ・姫路海上保安部による「海の安全」についての講習
- ・姫路ヨット協会の指導の下、実際にヨットに乗船しての操船の体験

1-5. 単元設定の理由・ねらい

- ・地域の海のさまざまな魅力を再発見し、海とのつながり、地域の一員としての自覚を深めさせる。
- ・海や地域の課題を発見し、その解決を図るために自分たちができることを考えさせる。
- ・体験活動を通して自主性や、豊かな感性、情操を培う。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・海の体験をとおして、ふるさと家島を理解し、郷土への誇りと愛着を育む。
- ・ヨットでの体験をとおして、協働とその重要性を理解させる。
- ・ルールやマナーを大切にしようとする態度を養う。
- ・海での事故防止に関する知識を身につけさせる。

1-7. 単元の展開（全3時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・事故防止に関する知識を振り返る。 ・臨機応変に対応するための新しい知識を得る。 ・ヨット上での安全確保について ・海や船での活動は危険が伴うことを知り、安全に体験活動をするためのルールや知識を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の指導 体験活動の趣旨、目的の説明と進行 ・主な評価 知識・技能 ・外部連携 姫路ヨット協会、姫路海上保安部
2 3	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨットの船上でヨットの構造や帆走の原理、操船についての説明を受ける。 ・ヨットの操船体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の指導 生徒の安全確保 ・主な評価 主体的に学習に取り組む態度 ・外部連携 姫路ヨット協会

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

- ・ヨット上での協働の経験を通し、ルールやマナーの大切さを知る。
- ・安全にマリンスポーツを楽しむため、海での事故を防止する知識を身につける。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 生徒、教師がグループに分かれ、グループごとに姫路ヨット協会講師の指導の下ヨットに乗船。</p> <p>2 帆走する前にヨットの構造、今回のそれぞれの役割について学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none">・帆走の原理・それぞれの役割について・家島とヨットの関係について <p>3 セーリング体験 説明を受けた役割をそれぞれ実際に体験する。</p> <p>4 船上から家島本島、男鹿島や海上の漂流物などを見る。</p>	<p>・乗船の際の安全に関する説明・諸注意</p> <p>・ライフジャケットをきちんと着用させる</p> <p>・姫路ヨット協会講師よりヨットの構造等の説明</p> <p>・新型コロナ感染予防、熱中症、怪我への配慮</p> <div data-bbox="810 1467 1471 1568" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>講師の説明を理解しながら、ヨットの操作が正しく行っている。【知識・技能】</p></div>

3. 今回の活動の自己評価

- ・少人数のグループに分かれ活動することができた。海での体験の楽しさを十分に味わうと共に、互いに協力すること、自己責任を果たすことの大切さを学ぶことができた。
- ・姫路ヨット協会、姫路海上保安部交通課の指導で「海の事故0」への意識が高まると共に、「海の怖さ」もあらためて感じる事ができた。
- ・活動を通して、ルールやマナーが大切であることも実感することができた。

4. 今後の課題

地域性を生かした体験活動を推進している中、生徒数の減少に伴い活動内容が限定されつつある。体験サーリングのように工夫と連携して下さる外部の協力を得ながら、活気ある活動を推進していきたい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特記事項なし